

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第328号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

あけましておめでとうございます

TOP*NEWS

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト金賞受賞

野球部・サッカー部 全校応援



全国マーチングコンテスト

新年を迎えて ～さらなる改革を目指して～



校長

片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。2014年、新しい年の始まりです。

昨年1年を振り返ってみると、まずは、約85%に当たる高校3年生351名が東海大学に合格し、希望の専門分野に進学することが決まりました。さらに、第3期SSH活動も新たな展開を迎え、11月にはロシアからガスプロム高校の生徒を迎え、お互いの研究内容を英語で発表

し合いました。アリーナで行われた歓迎レセプションも印象的でしたね。

各行事も大成功に終わり、特に剛健旅行は珍しく晴天に恵まれ、高校男子は満天の星空の中歩くことができて、たくさんの思い出が創れました。今年度初めて実施した孺恋高原キャベツの販売も大盛況で、あまりの美味しさに、「来年も買いたい!」という声がたくさん届けられました。

サッカー部のT1リーグ昇格で幕を開けた2013年高輪台の部活動。いろいろな部活動が頑張りました。昨年度までの3年間連続全国大会出場のため今年度吹奏楽コンクールに挑戦権のない高校吹奏楽部が、大阪城ホールで行われた全日本マーチングコンテストで見事金賞受賞。翌日の朝日新聞朝刊に大きく写真が掲載されました。中等部吹奏楽部が富山市芸術文化ホー

ルで行われた東日本学校吹奏楽大会で銀賞受賞。陸上競技部の村山航大君が八種競技で、大分銀行ドームで行われたインターハイ、大阪市長居第2陸上競技場で行われた全国総合体育大会陸上競技大会に出場。ダンス部が東京体育館で行われたダンスドリル全国大会でHipHop女子部門small編成で第2位。柔道部、剣道部が関東大会に出場しました。

そして、年末にみんなを沸かせてくれたのは、サッカー部の選手権東京都Aブロック準決勝と野球部東京都秋季大会準決勝です。それぞれ成立高校、関東第一高校を相手に11月9日10時から神宮球場で、11時から西が丘サッカー場で行われ、全校応援をしました。東京都に国公立合わせて431校ある高校のうち、サッカー部と野球部の両方がこの日まで勝ち残ったのは本校だけでした。試合結果は残念なことに、サッカー部は0-2で、野球部は0-4で敗れてしまいましたが、共に全国大会まであと一歩という所まで勝ち進んできたことは、今後の両部活動にとって、大きな財産になりました。また、当日、自分たちの大

会が行われて応援に参加できない吹奏楽部のため、OBが駆けつけてくれて、野球応援の演奏をしてくれました。感謝申し上げます。

この他、いろいろな部活動の試合応援に行かせていただきましたが、どこの会場でも熱心な保護者や家族の皆さんの応援、そして、駆けつけたOBの応援が選手たちを励ましてくれていました。中でも、高校男女バスケットボール部が大きく成長したのが印象的でした。

こうしたいろいろな活動が評価され、8月と10月に行われた高校の説明見学会には、それぞれ1,000名前後の受験生と保護者の皆さんが来校し、熱心に説明を聞かれました。まもなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新生を4月にはお迎えしたいと思います。

今年もたくさんの飛躍を計画しています。本校の改革については、新年度を迎えた4月に詳しくお話しさせていただきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第26回全日本マーチングコンテスト全国大会 金賞受賞!!

吹奏楽部 顧問 畠田 貴生

吹奏楽コンクール全国大会に昨年度まで3年連続出場し、名誉の出場休止となった今年、部員たちの最大の目標の一つは、マーチングコンテスト全国大会への出場でした。2004年度に、現在は廃止された自由演技が中心のフェスティバル部門には出場したことがありましたが、規定課題があるパレードコンテスト部門は、過去何度か挑戦しましたが、代表が1団体しか選ばれない東京都大会の壁は非常に厚く高いものでした。3年生には最初で最後のチャンス、9月1日の東京都大会に向け、厳しい練習が続ききました。結果は、見事に代表! 大阪城ホールでの全国大会に出場することができました。しかし、困難は続きます。東京都大会のフィールドは20m×30mなのですが、全国大会は30m×30m、フォーメーションを全て変更しなければいけません。部員たちは厳しい練習に耐え抜き、本番を迎えました。演奏開始直後は、さすがに緊張感を隠せませんでした。進むたびに調子上がり、最後は最高の笑顔で終えることができました。結果は見事、初出場で初金賞!! 応援してくださった皆様のお陰です! 特にアリーナを快く貸して下さった運動部の皆さん、本当にありがとうございました。そして、部員を物心ともに支えて下さった保護者の皆様、感謝してもきれません。今後も、素晴らしい演奏をお聞かせできるように頑張ります!!

夢の舞台へ

吹奏楽部 ドラムメジャー 横塚 日和

3年4組 東海大学付属翔洋中学校出身

夢にまで見た憧れの大阪城ホール、私たち吹奏楽部は11月24日にマーチングコンテスト全国大会に出場することができました。マーチングの責任者であるドラムメジャーに選んでいただいたのが今年の1月、ただひたすらに全国大会出場に向けて突き進んできました。私の無茶な要求にも部員みんなは笑顔で答えてくれ、本番当日は今までの努力が報われた気持ちでいっぱいでした。そして、結果は金賞! 涙があふれてきました。これも、今まで支えて下さった皆様のお陰です。特に、アリーナで活動している運動部の方々には、たくさんのご配慮をいただき、本当にありがとうございました。そして、保護者の皆様、私たちを温かく見守っていただき、部員一同感謝の気持ちでいっぱいです。ご声援ありがとうございました。



横塚さん



金賞受賞!

野球部・サッカー部 全校応援

全校応援

野球部監督 宮脇 孝一

私はとにかく全校応援の雰囲気が大好きです。メンバーだけでなく、スタンド全体が一体となる経験は一年中学校にしようともなかなか経験できないからです。学校全体で高輪台の活躍を喜べる。こうしたチャンスは滅多にない分、大切にしていきたい時間です。2008年夏、2012年春、2013年秋と野球部として全校応援をしていただいた経験から気付いたことがあります。それは陰日向なくコツコツと毎日を大切に過ごすことがいかに重要かということです。野球だけ頑張っている、皆さんの前ではなかなか普段通りのプレーは披露できません。何より心からの応援はしてもらえません。このことがわかるのもまた滅多にないチャンスなのです。大会中は二度にわたり全校応援をしていただき、ありがとうございました。本当に勇気づけられました。聖地での全校生徒の校歌斉唱を目標にさらなる努力をしていきます。

秋を終えて

野球部主将 石井 惇大
藤沢市立第一中学校出身

私たち野球部は9月から行われた秋季東京都高校野球大会において、創部以来初となるベスト4という結果を収めました。大会が始まる前までは、私たちには東京都でベスト4に入る実力はなく、例年よりも力がない代でした。それでもチーム全員が甲子園を目指し、全力でぶつかっていったので、一戦一戦強くなることができました。過去に二度負けていて、苦しい展開が予想されていた小山台戦では、全校生徒による素晴らしい応援の力もあり、勝利することができました。今回野球部を応援していただいた、吹奏楽、ダンス部をはじめとする全校生徒の皆様、職員、保護者、OB・OGの皆様、ありがとうございました。関東一高戦では皆様の期待に応えることができませんでしたが、この悔しさを忘れずに、甲子園という悲願達成に向けて日々精進していきますので、今後とも応援をよろしくお願いいたします。



準決勝開始！

全校応援をして



私たちダンス部は、神宮球場で自分の高校をチアリーダーとして応援しました。一生に一度あるかないかと言ってもいいほどの、貴重な体験をさせていただきました。

大勢の生徒の前だったので、少し緊張もありました。しかし、あの試合の雰囲気と応援で全校生徒が1つになったときの感覚は今でも忘れられません。広い会場と大観衆を相手に堂々と試合をやり遂げた野球部・サッカー部の皆さんは、本当にすごいなと感じました。

これからも応援していきます。ありがとうございました。

ダンス部 光藤 広美

2年2組 文京区立第六中学校出身

西が丘で自分たちのサッカーを

サッカー部 吉野 峻平

3年2組 川口市立在家中学校出身

サッカー部は、西が丘のピッチで自分たちのサッカーをして東京No.1になり、全国大会へ出場することを目標に、毎日の練習を積み重ねてきました。その成果が出て、今年度初めてブロックのベスト4になり、西が丘へ駒を進めました。残念ながら目標を達成することができませんでした。

しかし、ここまで来られたのも、私たちを応援してくださった友達、両親の支えがあったからだと思っています。そして何より今まで一緒に練習してきたチームメイトのお陰です。感謝の気持ちでいっぱいです。

引退までとわずかですが、残り少ないサッカー部の活動を、最後まで全力で行いたいです。応援よろしくお願いいたします。



サッカー部監督 川島 純一

このたびは、全国高校サッカー選手権東京大会準決勝において素晴らしい応援をありがとうございました。選手たちは応援に後押しされ精いっぱい戦いましたが、期待に応えられずに申し訳ありませんでした。残念ながら全国大会出場は叶いませんでしたが、全国最多の315校が出場した東京大会を3位という成績で終えることができました。来年度以降はこの悔しさを忘れずに、愛され応援されるチームを目指して全国大会出場を掴めるように、高輪台サッカー部の想いをつなげていきたいと思えます。全校生徒の皆さんをはじめ、多くの学校関係者、保護者、OBの方々に支えられ、高輪台高校全員で西が丘で戦えたことに深く感謝しております。ありがとうございました。

柔道部 土淵 優人

3年5組 江東区立第三亀戸中学校出身

10月19日土曜日、西が丘で行われたサッカーの試合を見ました。相手の高校も強豪校で白熱した試合になりました。前半にアクシデントが起きてしまい、最終的には負けてしまいました。しかし、そんな中でもプレーをしている選手、スタンドで声援を送り続ける仲間、すべてが一つとなり目には見えない大きな力が伝わってきました。私は、同じスタンドにいて鳥肌がおさまらなかった。チーム全員が、輝いて見えました。

第5回 中等部合唱祭開催

11月21日、中等部合唱祭が開催されました。当日を迎えるまでさまざまな壁がありましたが、クラス全員で協力して、それらの壁を乗り越えて、合唱祭当日を迎えました。今回は、見事金賞を受賞した3年B組、そして指揮者賞、伴奏者賞を受賞した生徒にコメントを書いてもらいました。受賞できなかったクラスも、クラスが団結したこの経験を生かし、今後さらに素晴らしいクラスにしていてもらいたいと思います。

☆優勝☆

本番を振り返って

鈴木 康規

3年B組 横浜市立新鶴見小学校出身

人生において最後の合唱になるかもしれない最高の合唱祭を行いました。練習の時には、真面目に取り組む人と、あまり気分が乗らずに練習している人とに分かれてしまっていたように感じました。

しかし、合唱祭が近づくにつれて、雰囲気は変わってきました。そして、本番は、クラス全員が参加し歌うことができました。これだけでもとてもうれしかったことだったのに、思いもよらず金賞を受賞することができました。あまりにもうれしくて泣いてしまうクラスメートもいました。最高の時間だったと思いました。

それに、何より驚いたのは、そのうれしさを帰りのホームルームの時間までずっと言葉に出さず、授業もきちんと受けていたことです。この日は本当に最高の時間だったと改めて思いました。

☆指揮者賞受賞☆

田中 健太

3年A組 中野区立桃花小学校出身

最後の合唱祭で指揮者として、受賞することができ、大変うれしく思っています。しかし、それまでの日々の練習は、とっても大変でした。時には、頭がいっぱいになって苦痛に感じることもありました。それでも成し遂げられたのは、クラスが一つになれたからだと思います。全員の心が集まった本番、泣きながら指揮棒を振っていました。いろいろな思いに満たされた涙が、最後にはうれしさの涙に変わっていました。

☆伴奏者賞受賞☆

榎本 菜々

3年B組 淑徳小学校出身

私は今回の合唱祭で初めて伴奏をさせていただきました。今までは自分が歌う立場だったので、歌っている人とのテンポが合わずイライラしていました。

それを親に話したら、「あなたの伴奏で何人も人がついてきてくれる。それだけでも感謝をください」と言われ、今のままではいけないと思いました。それからは、皆の気持ちを理解するような伴奏になることを心がけました。すると、3年B組らしい演奏ができるようになったのです。その結果、クラスは合唱祭では金賞、私は伴奏者賞を取ることができました。

クラスの皆には、たくさん迷惑をかけたけれど、最後まで私についてきてくれてありがとう。



受賞おめでとう!!

金 賞：3年B組

銀 賞：3年A組

銅 賞：2年A組

指揮者賞：3年A組 田中健太

伴奏者賞：3年B組 榎本菜々

松前重義記念基金 建学記念作文・小論文

2013年度「松前重義記念基金」建学記念小論文・作文の応募者の中から、本校では高校3年の大谷優斗君と高校1年の近藤千裕さんの小論文が優秀作品に選出されました。両名には11月5日の建学記念式典で片桐校長より建学記念奨学金の証書と奨学金として5万円分の図書カードが授与されました。



左・近藤さん、右・大谷君

何事にも挑戦することが大切 大谷 優斗

3年7組 森村学園中等部出身

今回、建学記念奨学金をいただき、大変うれしく思っています。小論文をまとめるには物事を多面的に捉える必要があります。この力は大学生や社会人になると、必要不可欠になります。私自身、この力が十分備わっておらず、小論文を書くのにとっても苦労しました。しかし、諦めずに挑戦したことで、この力が多少なりとも身に付いたと思っています。大学生活では、今回得た経験を十分に活用できると思っています。1・2年生の皆さんも、この力を養うために来年の建学記念小論文に応募してみてもいいのではないでしょうか？

建学記念奨学金をいただいて 近藤 千裕

1年5組 深川第一中学校出身

このたびは、このような名誉ある奨学金をいただき大変光栄に思います。今回の小論文のテーマである「健康な身体づくり」について書くことで、健康な身体がどれほど大切かを改めて考えることができました。勉学に励めるのも、部活動に全力で取り組めるのも、健康な身体があるからこそです。今まで、文章を書くことが苦手で、最初は応募をためらいましたが、このような形で認めていただけたことは、大きな自信につながりました。今回の受賞をこれからの人生の糧として、たくさんの方にチャレンジしていきたいと思っています。

生徒会新役員決まる

10月31日、生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。今年はすべて信任投票でした。新役員の多くは新規の役員ですので、高輪台高校・中等部の活動がさらに良くなるよう力を注いでくれると期待しています。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるように協力をしていきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 A組 横山 龍

副会長 2年 B組 鶴岡 亮久

副会長 2年 B組 廣瀬 孝輔

会計 1年 B組 上野 和叶

書記 1年 A組 小野友里有



後列左から 上野さん、小野さん
前列左から 廣瀬君、横山君、鶴岡君

高校生徒会新役員

会長 2年 4組 木内信之介

副会長 2年 9組 國武 正太

副会長 1年 5組 相川莉佳子

会計 1年 5組 小澤みなみ

会計 1年 9組 望月 ルカ

書記 2年 6組 敦賀谷 尚

書記 1年 9組 藤井 崇史



後列左から 小澤さん、望月さん、藤井君、敦賀谷君
前列左から 相川さん、木内君、國武君

高校生徒会会長

木内 信之介 2年4組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

このたび、生徒会会長に就任いたしました木内信之介です。

私は1年生の頃から生徒会長として生徒会に所属していました。そして、生徒会や生徒の代表としての「あるべき姿」をこの1年間で学んできました。しかし、去年の生徒立会演説会の際に「学校を変える」と言いましたが、結局あまり成果を挙げられないまま1年が経ってしまいました。ですから、今

年こそは絶対に学校を変えようと思い、今年も生徒会長になりました。

私は、今年の立会演説会で学校改革の話をしました。実際に計画してみるとさまざまな問題がありますが、期待に応えるためにこれまで以上に一生懸命活動していきます。ですので、計画が実行できた際には必ずルールを守ってください！また、高輪台高校での自主的に働きかける行事をもっと増やしていきたいと思っています。例えば、TAKAFESやこれからの前中後夜祭など、「もっと学校を盛り上げたい」そんなことを思っている人たちのために、私たち生徒会は一生懸命頑張っていきます！

中等部 1 学年 だより

11月21日の一斉公開授業の日に行われた合唱祭。保護者をはじめ多くの方の見守る中、生徒たちは精いっぱい歌いました。しかしそこに至るまでには、たくさんの紆余曲折がありました。今回は合唱祭での感想を紹介します。

初めての合唱祭

古室 七海

1年A組 中央区立日本橋小学校出身

初めての合唱祭はとても緊張しました。しかも、トップバッターでさらに緊張しました。でも、緊張し始めたのは本番に入ってからです。それまでのリハーサルや練習のときはいっさい緊張していませんでした。本番のときにあのステージで立った途端に、手に汗をかくような緊張がしてきました。

でも、まわりのことを気にしていたら集中して歌えないので、周りのことは気にしないで歌いました。私は失敗するかもしれないという不安があったけれども、大きな声で滑舌よくはっきりと、元気な声で楽しく歌えました。あのステージでみんなと歌ったときは最高に楽しかったです。心から笑顔になれた気がします。結果は良くなかったけれども、クラスみんなと歌えたので、私の中では一番です。また来年、頑張ります。

合唱祭「Believe」

儀野 未来

1年B組 昭和学院小学校出身

今日は1年生になって初めての合唱祭でした。放課後などもたくさん練習したため入賞したいなという気持ちも少しありましたが、何よりも自分の声を最大限まで生かし、クラス全体で一番いい歌声をまず届けたいと思い、本番では精いっぱいの声を出しました。

歌っている最中はとても緊張して足が震えました。でもだんだんと一体化していくハーモニーに自信が持てて、最後は達成感でいっぱいでした。

結果は入賞せず。1年生だから…と入らないと思っていつつ、でもこのメンバーなら入賞しているかも、と期待していたため残念でした。後から入賞まであと一步だったと知って、このメンバーだったからだという喜びと悔しさが込み上げてきました。入賞はできなかったものの、私はこのクラスで、このメンバーで歌えたことはとてもよかったし素敵な思い出になったと思います。



素晴らしい伴奏をありがとう!



A組が一番手の緊張の中での合唱でした



B組も一生懸命歌いました!



指揮者もよく頑張りました!

中等部2学年だより

合唱祭 A組は銅賞受賞

11月21日(木)に合唱祭がありました。昨年は、2・3年生の先輩のレベルの高さに圧倒されただけで終わってしまいましたが、今回は練習に練習を重ねて本番に臨みました。

その結果、両クラスとも昨年よりも数段上達した歌唱を披露することができ、A組は銅賞を手中に収めました。来年度は金賞と銀賞を独占した現3年生の素晴らしい歌声を超えることを目標にしてほしいと思います。

なお、曲名・指揮者・伴奏者は以下の通りです。

A組 曲名『大切なもの』(指揮：浅野 樹君、伴奏：高附 遼弥君)

B組 曲名『心の瞳』(指揮：名久井早紀さん、伴奏：渡辺 愛海さん)

みんなで取った銅賞

森 隼人

2年A組 新宿区立西戸山小学校出身

今年の合唱祭で、私たちのクラスは銅賞を取ることができました。私はこの銅賞はみんなで取った賞だと思っています。最初の練習ではみんなのやる気が全く見られず、ふざけている人たちがたくさんいました。担任の先生が「目標は金賞」と言った時には、「金賞なんて夢のまた夢、それどころかどの賞も取れないだろう」と思っていました。しかし、練習を続けていくと、みんなのやる気が強まっていき、どんどん素敵な歌へと進化していきました。本番一週間前になると、朝練も始めました。そして迎えた本番当日。私たちのクラスはそれまでしてきた、金賞を取るための努力や熱意のすべてを出して歌いました。そして結果発表。私たちのクラスは銅賞という結果でした。金賞ではありませんでしたが、この銅賞は私たちの大切な思い出ですし、みんなで一生懸命取った賞です。この思い出は一生忘れません。



A組伴奏者高附君



A組



A組指揮者浅野君

団結

渡辺 愛海

2年B組 北区立王子第五小学校出身

11月21日に合唱祭がありました。2-Bは「心の瞳」という曲を歌いました。去年とは違い、難しい曲です。歌の練習は、音楽の時間と放課後の4時までだけという限られたものでした。初めてクラス全員で合わせたときは、本当に合唱祭に出ることができるの？と思うくらいひどい状態でした。みんなのやる気もばらつきがあり、練習を開始するのに時間もかかり、大変でした。でも他のクラスの歌を聞いたり、先生の言葉などで、みんなのやる気も少しずつ出てきて、歌もだんだんと良くなっていきました。しかし、他のクラスも同じように練習してきていて、「1年生に負けたらどうしよう」など不安な気持ちも出てきました。まとまりだしてから残された時間はあまりなく、すぐに本番の日を迎えてしまいました。最後はクラスで団結して練習を頑張りました。せめて、3位に入りたいと思っていましたが、入ることはできませんでした。でも一生懸命練習をして、クラスの絆が深まったと思ったのでよかったです。来年も頑張りたいです。



B組伴奏者渡辺さん



B組



B組指揮者名久井さん

中等部3学年だより

高校推薦入試を控えて

中等部3年生は1月に高校推薦入試を控えています。いよいよ高校生になる日が近づいています。今回は4人の生徒に、高校生になったら自分が頑張りたいと思っていることを文章にしてもらいました。

新たなライバル

手嶋 克彰

3年A組 横浜市立市場小学校出身

自分はあと数か月で高校生になります。高校生になって頑張りたいことは山ほどあります。その中で一番頑張りたいのは勉強です。

高校生になったら、この学校にはたくさんの新入生が入ってきます。その新入生はこの学校に入るために一生懸命勉強を、苦しいほどしてきた人たちです。自分も3年前を思い出せば、どれだけ頑張ったかよくわかります。

今まで頑張ってきた新入生には自分も絶対勉強で負けたくありません。正直、今の自分のレベルでは届かないかなと思っています。しかし、だからこそ努力をして、勉強で勝つべきではないかと自分は思っています。それに、高校生になれば、中学生のときよりも教科が増え、大変になってきます。

それでも高校になったら、努力して、新入生たちに勉強で勝ちたいと思っています。

高校に行ったら頑張りたいこと

山本 弥香

3年B組 大田区立赤松小学校出身

私が、高校に行ったら頑張りたいことは、SSHです。

私は、小学生の時から、SSHに入りたいと思っていました。ですから、私はSSHでいろいろな事柄を学び、いろいろな理科の知識を増やしたいのです。またSSHでは、プレゼンテーションを数多く行うと聞いています。私は上手くプレゼンテーションができるように頑張りたいです。他にもSSHの先輩からいろいろなアドバイスも聞いて、自分の行動や発表に生かしたいです。

私には、まだまだ知らないことがたくさんあります。私は、SSHでその「知らないこと」を埋めることができると思っています。なぜなら、新しい発見をするたびに、私はうれしくなるからです。

チャレンジ

新保 真孝

3年A組 江東区立第三大島小学校出身

僕が高校で頑張りたいことは、部活動です。僕は中学3年間ずっと文化系の部活動に所属していました。ですが、高校では運動部のアメリカンフットボール部に入ろうと思っています。

なぜアメフト部かという理由があります。僕は運動が苦手です。走ったりするのも好きではありません。でも、だからといって何もしないというのは少し納得できませんでした。何か新しいことにチャレンジしたいと思い、昔から興味のあるアメフト部に決めました。

新しいことを始める時は不安がつきものです。しかし、何もしないよりはいいと僕は思います。僕はこのチャレンジをきっかけにして、これからは勉強や他のことでも、どんどん新しいことにチャレンジしていきたいです。

高校でやりたいこと

伊藤 大和

3年B組 品川区立大井第一小学校出身

私が高校に進学して、一番やりたいことは部活動です。

なぜなら、中等部では部活動をしていなかったからです。1年の時には、部活動をしていたのですが、いろいろあつて辞めてしまいました。それからは特に部活動はやっていません。何かに入っておけばよかったと思っています。

高校の部活動の数はとても多いので、何かしらには入れると思って期待しています。私は運動系も実は好きなので、運動系の部活動もいろいろのぞいてみたいと思います。また、それ以外にもさまざまな部活動があるので、楽しめる部活動に入りたいです。

中学の時は、入ってもすぐに辞めてしまったので、そうはならないように、続けられることを目標にして、部活動を頑張りたいと思います。



後期中間試験直前です(A組)



数分間でもラストスパートで頑張る(B組)

高校1学年だより

高校1年生では、週に1時間「現代文明論」という授業を行っています。その授業の中で、現代社会の諸問題について、班ごとにテーマを決めて、ポスター発表を行いました。その時の感想を生徒に書いてもらいましたので紹介いたします。

「動物実験」の発表を聞いて

安本 夏美

1年1組 狛江市立狛江第二中学校出身

私がそれぞれの班のポスター発表を聞いて、一番印象に残ったのは「動物実験」についてでした。犬やウサギの目や皮膚に薬品を塗りその毒性などを調べる動物実験は、特別な薬品だけでなく、私たちが毎日使うシャンプーなどを作る時にもこのような動物実験が行われているとのことでした。涙が出ないウサギの目を利用してシャンプーの原液を塗り、その毒性などを調べる実験の様子や写真を見たときには、それを直視することができませんでした。すぐにその写真から目をそらしたくなりました。しかしここで目をそらしたら、人間のエゴで奪われていく小さな動物たちの命までも目をそらしてしまうような気がしました。最後まで発表を聞き、人間が便利で安全な生活を送る裏側で、このような動物実験が行われている実態を知り、私たちが生きていくことのあり方やその意味を一人ひとりが考え、見直していかなければならないと感じました。そうして動物実験に頼らない、他の化学実験などで動物への負担を少なくできたらよいなと思いました。

ポスター発表で学んだこと

松村 拓

1年4組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

今回の「ポスター発表」で、私たちは普段触れることがない現代社会の問題について真剣に考えることができました。私のグループでは「人工衛星」について発表しました。人工衛星は気象衛星・通信衛星などのように私たちの日常生活に役立っている反面、年数を経て使用済みとなった衛星が、宇宙ゴミとなって地球上を周回しています。今回のグループ発表で私は、さまざまな事実を知ることができました。宇宙ゴミは、現在では、ただの環境問題ではすまされない状況になっていることを知りました。このようにポスター発表をすることによって、相手に自分の調べたことや考えたことを伝えるだけでなく、今まではあまり興味がなかった現代社会の諸問題について発表を聞いて多くのことを知り、またそれらに対する知識を深めることができました。だから今回のポスター発表は私にとってとても良い経験になりました。

発表したことによってわかったこと

中村 晃大

1年5組 練馬区立開進第一中学校出身

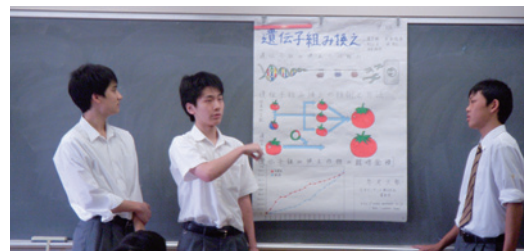
私は現代文明論の発表を終えて、一つ一つの物事を今までよりも深く考えるようになりました。私の班では「ロケット技術の軍事利用と平和利用」について調べました。その中でも、私は「問題解決」について考えました。考えたり調べたりするうちに、現在中東などで内戦が起こっている最中に、ロケットの軍事利用をすぐになくするのはとても困難なことだということがわかりました。しかし、ロケットは宇宙開発では平和利用ができます。「軍事利用」と「平和利用」というこの2つのことをまとめて発表するのは、とても難しいものでした。高校に入学して初めてのグループ発表ということや、自分が調べたり考えたりしたことを皆の前で発表したのでもとても緊張しました。しかし、今回発表したことで、よりいっそうロケットについての考えを深めることができ、関心も強くなりました。この経験を今後の学校生活や将来に生かしていければいいなと思いました。

ポスター発表から学んだこと

菅原 綾乃

1年6組 港区立高松中学校出身

私は、今回現代文明論で「iPS細胞」について調べ、皆の前で発表しました。発表の準備作業のときに、どのように工夫すればポスター発表でわかりやすく説明できるか、また、ポスターを描くときどのように構成すればいいのか、その難しさに頭を痛めました。発表では、声の大きさや速さ、それに表現の仕方などについて十分に準備ができませんでした。私は、このポスター発表によって、「iPS細胞」について詳しく調べることや理解することができ、また発表の大変さを学びました。将来、プレゼンテーションが上手にできることはとても大切なことなので、高校生のうちにもっとプレゼンテーション能力を高めることが大切だということを実感しました。だから、これからまたこのような機会があったら、自分のベストを尽くせるように努力していこうと思いました。



高校2学年だより

2学年の建学祭はこれ! ②

12月号に続き、今号でも建学祭での各クラスの催しと、日本語ディベート大会の様子をご紹介します。

7組「フロッシュ~炭酸水とアйсの出会い~」



清野 咲歩

世田谷区立尾山台中学校出身

アイスが溶けてしまったりとトラブルもありましたが、お客さんもたくさん来てくれて楽しかったです。来年の模擬店にも生かせたらと思います。

8組「じょいふる」



塩 明日香

港区立六本木中学校出身

8組は卓球、腕相撲、ダーツ、ジェンガをやりました。2日間とも大勢の方が来てくださったので、盛り上がりました。さらにクラスの皆が団結しました。

9組「2-9 ザ・ムービー」



阿部 泰己

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

完成した作品が、直前になって届いていないなどのトラブルが起きていましたが、多くの人の手助けがあり、無事上映することができました。

学年「わんだふる!研修旅行」



仲谷 武帥

埼玉大学教育学部附属中学校出身

この「わんだふる!研修旅行」は、準備も当日も人が少なく大変でしたが、手伝いに来てくれる人がいたお陰で300人以上の人にみてもらうことができました。

日本語ディベート大会

今年度は「日本の中学・高校は完全週6日制を導入すべきである。是か非か」という論題で、各クラス代表が肯定側・否定側チームを構成して対戦する形で行われました。

肯定側

海老優之介(3組)
敦賀谷 尚(6組)
粕川 晃司(7組)
芦野 光祐(9組)
古澤 純(9組)

否定側

兵庫 宏之(1組)
皆川 昂哉(2組)
山元 嶺(4組)
長尾明日加(5組)
仲谷 武帥(8組)



対戦は審判を悩ますほどの攻防が行われましたが、立論でプラン、メリット、メリットの発生過程およびそのメリットの重要性を緻密に述べ、否定側の攻撃を巧みにかわした肯定側の勝利でした。



高校3学年だより

3年生にとって高校生活もあとわずかになりました。今回はクラスの代表生徒に、高校生活を振り返って思うことを書いてもらいました。部活動やクラスの様子などについて、それぞれ味わい深いものが書かれています。

1組 川内翼

千代田区立神田一橋中学校出身

高校生活を振り返って、今一番心に残っていることは部活動の思い出です。クラスでのスポーツ大会や建学祭も大切な思い出ですが、私にとっては2年半の野球部として過ごした毎日が一番強く心に残っています。甲子園を目指して毎日練習に打ち込み、結果として甲子園には手が届きませんでしたが、充実した毎日を送ることができました。これも監督、コーチ、クラスメートをはじめ多くの人たちの支えがあったからだと思っています。この場を借りて深く感謝の意を表したいです。

2組 橋本拓生

葛飾区立常盤中学校出身

私の高校生活のほとんどはアメフト部の思い出です。友達に誘われて軽い気持ちで入部しましたが、初めのうちはつらいことが多く、辞めるタイミングを探すくらいでした。しかし、先輩が怖くて結局辞めることができず、いつ辞めようか考えながら続けていると、だんだん上手くなっていくのを感じ、それが楽しくなってきました。今では、あの時辞めなくてよかったなという気持ちでいっぱいです。生まれて初めて本気で取り組めるものをこの高輪台で見つけることができました。

3組 村山航大

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は3組で本当によかったと胸を張ることができます。最初はあまりまとまりがなく不安でしたが、やる時はやるクラスでした。さまざまな行事を重ねるにつれて団結力が深まり、スポーツ大会や体育祭で優勝することができました。授業中も賑やかで毎日楽しく過ごせました。私にとって一つ一つのこと全てが大切な思い出です。そして私たちと一緒に過ごし、支えてくださった加藤先生には本当に感謝しています。ありがとうございました。

4組 三ヶ尻京平

春日部市立大沼中学校出身

私は高校の3年間でいろいろなことを学びました。部活動では怪我で手術をしてしまい、長い間サッカーをすることができずでしたが、3年の最後に西が丘のピッチに立つことができました。つらいことの方が多かったのですが、この3年間の経験を生かし、大学でもサッカーを続けていきたいと思っています。あと、長い通学時間も高校3年間の貴重な思い出になりました。

5組 酒井里紗

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

5組で過ごした2年間を振り返ると、楽しいことしか思い出せません。いつもにぎやかで笑いの絶えない仲の良いクラスです。うるさくて注意されたこともあります。それくらい元気なクラスです。また5組はイベントになるとみんなが全力で取り組み、団結し、仲良く元気なことを生かして全力で応援して楽しめます。私はそんな5組が大好きです。こんなに居心地の良いクラスでよかったです。卒業までの時間を大切に、まだまだ思い出を作りたいです。

6組 北田梨紗

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私が高校生活を振り返って思ったことは、友達の大切さです。体育祭や建学祭などの行事を楽しむことができたのも、友達と一緒に朝早く集合して苦しいことも、楽しいことも、共有して達成感を味わうことができたからです。他にも、3年間続けてきた部活動で周りからの信用性や、連帯責任の辛さを知ることができました。そして、何か問題が起きても皆で解決して和解決し、より団結力が深まることを知ることができました。

7組 高田一慶

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私の高校生活はとても充実していました。今思い返すと、高校生活の大半は部活動(卓球)に没頭していました。個人としてもチームとしても、納得のいく結果を出すことができました。しかし、学業面では全力で取り組もうとせず、妥協してしまっただけがありました。今思うと後悔しています。

私にとって、高校生活のすべてが大切な思い出です。たくさんのことを経験したこの時期を胸に、これからの人生を歩んでいこうと思っています。

8組 近藤咲姫

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は中等部からの6年間はあっという間でした。高校生活では、さまざまな人との関わりが多くその中でも部活動が一番の思い出です。多くの方のサポートがあり、良い思い出も悪い思い出もたくさんありましたが、マネージャーという立場から選手をサポートした経験を今後の生活に生かしたいです。また、クラスの仲間にも恵まれ本当に楽しい時間を過ごすことができました。みんな、本当にありがとう。

9組 中山きひろ

品川区立荏原第一中学校出身

私たち9組は3年間クラス替えをしていません。勉強や研究はもちろん、建学祭をはじめスポーツ大会や体育祭などの行事も全力で楽しみながら取り組み、「前回よりも良く」、「結果を残すこと」を目指しました。その結果、2年生の時の建学祭では知的財産グランプリで準グランプリをとることができ、ディベート大会では優勝することができました。また、1年半行ってきた個人の課題研究も全員無事に終わることができ、充実した3年間を送ることができました。3年間支えてくださった先生方、そしてみんなには感謝しています。ありがとうございました!!

SSH活動報告

11月5日にロシアのガスプロム高校の生徒・先生方が本校に来校し、SSHクラスとの交流会を行いました。本校1・2年生による「高輪台高校の紹介」、3年生による課題研究「Generation of PLASMA (プラズマの発生)」やガスプロム高校による「The problem of water in the megapolis (大都市の水問題)」について研究発表を行い、活発な意見交換をすることができました。

また、11月8日～10日に立命館大学「JSSF」に高校3年生SSHクラスの生徒が2名参加してきました。約20か国40校が参加する国際的な科学シンポジウムであり、講演や研究発表、海外校とチームを組んでの実習など、さまざまな活動を通して海外の生徒と交流することができ、国際的な視野を広げることができました。

英語を使つての交流

國武 正太

2年9組 江戸川区立小岩第二中学校出身

11月5日にロシアから12名の生徒と先生が来てくださいました。そこで楽しみのダンスや歌で私たち高輪の全校生徒と友好を深めた後、SSHでは研究の成果発表という形でロシアの学生と意見を交換し合いました。その挨拶として、私を含む2年2人と1年3人で英語を使って学校や日本の紹介をしました。実際に海外の高校生に向けて話すことは初めてだったので、とても緊張しました。しかし、このことも1つの経験として次につなげていく材料になると思うので、やってきたことを忘れずに発展させていこうと思います。



ガスプロム校・高輪台SSHクラス全員集合

自分の世界を広げよう!

中島 圭介

3年9組 世田谷区立砧南中学校出身

僕たちは2年生の頃からプラズマについての研究を行ってきました。そして今回、ロシアのガスプロム高校との交流会において、研究成果を英語で口頭発表させていただきました。僕は以前から人前で話すことや、英語が苦手ということもあって、とても緊張しました。ガスプロムの学生は、ダンスを披露してくれたりしてとても良い方々でした。後輩たちのプレゼンも緊張を和らげてくれました。多少のミスはありましたが、プレゼンが終わると、緊張が一気に解けて安心しました。その後はガスプロムの方々とSSHの全員で写真を撮り、僕たち2人はガスプロムの学生からキーホルダーをもらいました。なんだか自分の世界が広がった気がしてSSHに入ってよかったと思える瞬間でした。

何かを「できない」と思うことがあっても、挑戦するということは自分の世界を広げる第一歩だと思います。今回の経験を生かして、今後も勇気を出してさまざまなことに挑戦していけたらよいなと思えた貴重な交流会でした。



活発な意見交換ができました

国際交流の楽しさ

馬場 駿

3年9組 川崎市立有馬中学校出身

私たちは立命館大学でのJSSFという発表会に参加しました。今回、私たちは英語での口頭発表が初めての機会であったため、文法や発音など準備がとても大変でした。発表当日は実験の結果の動画が流れないというトラブルもありましたが、満足のいく発表が行えました。私たちは、サイエンスゾーンとサイエンスワールドの2つの講義を受けてきました。まずサイエンスゾーンでは、初めに教授の講義を受け4人のグループを作り、スパゲッティを使って橋を製作し、最後に重りを橋につるして耐えることができるかテストをしました。また、サイエンスワールドでは、より独創的な義足をつくる講義を行っていただきました。カナダ、タイ、韓国などの外国人と少人数のグループを作り、話し合いをしながら進めたので海外の友達ができ、とても良い機会でした。今後も英語での口頭発表があるので、今回の反省を踏まえてより良いものを作り上げていきたいです。



貴重な体験ができました

TOKAI キャンパスメッセージ

建築の魅力について

東海大学工学部建築学科主任教授 山崎 俊裕

東海大学建築学科は、日本武道館の設計で有名な建築家山田守を初代主任教授として創設されました。東海大学キャンパスには山田守設計による建築が数多く残されています。建築学科入学生は、平成25年度229名(高輪出身14名)、女子学生54名(約24%)で、工学部では女子学生比率が高い学科です。建築学科の女子学生は他学部他学科に比べて遅い学生が多いというのが率直な印象です(笑)。

来たれ理系女子です!

建築学科の入学生は建築士資格取得を目指して、建築デザイン授業で設計製図課題や模型制作に精力的に取り組んでいます。優秀作品の総合講評会(春秋2回開催)の他、住宅課題賞や全国学生設計コンクールで優秀な成績を残す学生も相当数います。4年間の集大成である卒業設計では最優秀賞(TD賞)を目指して頑張っています。建築学はデザイン分野以外にも環

境・設備、構造、材料・施工等の分野があり、これらの関連講義・実験・実習も複数あります。また海外建築研修旅行が毎年夏に企画・実施されており、学生の楽しみの一つとなっています。人間と深く関わる学問であるが故にリアルな実体験をすること、それが建築を学ぶ上での基本であり魅力といえます。(詳細は建築学科HPへ)

<http://tokai-architecture.jimdo.com>



建築デザイン授業風景:設計製図は建築の基本。目指せ一級建築士!



卒業設計発表会:4年間の集大成。目指せTD賞!!



海外建築研修旅行:世界的に有名な建築ロンドン教会。学生のおこがれの建築

建築を学ぶということ

東海大学大学院工学研究科建築学専攻修士2年(高輪台高校2008年3月卒業) 渡邊 光太郎

私は小さい頃から、父が建築関係の仕事をしていたので建築に携わる仕事に就きたいと思っており、建築学科への進学を決めました。

建築の勉強というのは、建築の図面を描くことだけだと入学以前は思っていたのですが非常に奥が深く、建築史や構造、材料や施工と他分野にわたっています。

また、3年の終わりに研究室に所属してからは外部の人と接する機会が多く、

一つの建築を作るのにさまざまな職種の人と協力して作り上げていくのだと感じました。特にそれを実感したのが、東北震災復興のプロジェクトで、被災にあってなくなってしまった公民館を、私たち学生が主体で設計から施工まで行ったときです。大学の先生方や外部の専門家、現地の住民の方々の協力がなければ、何日かけても完成しなかったのではないかとというくらい苦戦しました。

しかし、地元の方と一緒に建設できたからこそ今でも交流が続いているのだと思います。また、そのときの経験を生かして日本建築学会設計競技に新しい復興のあり方を提案し、全国大会で佳作をいただきました。

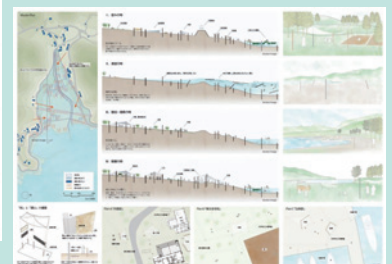
来年からは学生ではなく社会人として設計に携わっていくことになりませんが、大学生活で学んだことを糧に頑張っていきたいと思います。



岩手県大船渡市での公民館完成時



日本建築学会設計競技 作品1



日本建築学会設計競技 作品2

お知らせ

東海大学進学相談会 1月11日(土)

進路について考えよう 対象:高校2年生 生徒・保護者

東海大学の教職員を本校に迎え、各学部・学科の特色を説明していただきます。
学部・学科ごとの説明会です。

英検 1月25日(土)

今年度最後の英検です。ベストを尽くしましょう。

中等部吹奏楽部 第5回定期演奏会

日時:1月18日(土) 15:30 開場 16:00 開演
場所:国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール
(小田急線参宮橋駅下車 徒歩約7分)

1年間の集大成として部員一同頑張りますので、ぜひ聴きにいらしてください。

行事予定

January 1月

- 6日(月) 新春懇親会
- 7日(火) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 9日(木) 学年集会(中2・高2)
- 11日(土) 東海大学進学相談会(高2)
- 12日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(5回目)
- 13日(月) **成人の日**
- 14日(火) 月曜日の授業
- 15日(水) 高校推薦入学試験願書受付 専門医によるカウンセリング
- 18日(土) スポーツ大会(高1、アリーナ) 数学検定(希望者)
- 20日(月) 中等部入試願書受付、第1回(~1/31)・第2回(~2/2)
- 21日(火) 校医相談日
- 22日(水) 高校推薦入学試験 生徒自宅学習日
- 23日(木) 高校推薦入学試験合否発表 生徒による授業評価アンケート
- 24日(金) 漢字検定(希望者)
- 25日(土) スポーツ大会(高2、アリーナ)
中1・2 英語検定(中3・高校希望者)
- 29日(水) 卒業試験(中3、~31日)
- 31日(金) 特別講座終了(高3)

February 2月

- 1日(土) 中等部第1回入学試験
- 2日(日) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(月) 中等部第2回入学試験 生徒自宅学習
- 4日(火) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(水) 答案返却日(中3)
- 6日(木) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 10日(月) 高校一般入学試験 生徒自宅学習
- 11日(火) **建国記念の日**
高校一般入学試験合否発表
- 12日(水) 月曜日の授業 専門医によるカウンセリング
ニュージーランド海外英語研修(中3、~21日)
- 13日(木) 基礎力判定テスト②(高1・2、5教科)
- 15日(土) 新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦)
- 18日(火) 校医相談日
- 22日(土) 中等部新入生・保護者登校日(10:00~)
新1年制服採寸・教材販売(高校一般)
- 28日(金) 3年生を送る会
高輪会入会式(高3)

一斉公開授業



編集後記

2014年が幕を開けた。無事に新年を迎えられたことを素直に喜ぼう。さて、個人的な今年の関心事は2月のソチ五輪、それに6月のサッカーW杯という2つのスポーツイベントである。政治経済分野では4月の消費増税が最大のイベントであり、これは1年以上続いたアベノミクスの試金石となろう。ところで、本校は4月から学校週6日制に移行する。東海大学のキャッチコピー「先駆けであること」の文字通り、公立に先駆けての実施である。10数年ぶりに復活する土曜授業を、生徒諸君はどんな気持ちで受けるのだろうか?(き)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>